

# Tuuli

トゥーリ

2011年6月15日発行

毎年この時期、根川ではカルガモの出産ラッシュです。昨年度は可愛い黄色のヒナがみんなのアイドルとなりました。ところが、今年は残念ながら、カルガモの子供たちを見かけません。それどころか鴨自体の姿もあまり見かけません。一体どうしたことでしょうか？専門家に伺ってみると、「今年は繁殖が遅れているようですが、本来であれば今頃は雛連れが見られる季節です。根川に営巣が見られない原因はよくわかりませんが、営巣地の草が刈られたなどの変化はなかったでしょうか？」とのお話でした。今日、仲良くつがい歩いて歩いている姿を見かけました。是非戻ってきてほしいものです。



## 納涼大会のお知らせ



今年も納涼大会の季節がやってきました。3月の大震災に伴い、各地で行事の自粛も行われています。至誠ホームの納涼大会は、利用者の皆さんだけでなく、ご家族や地域の方々も楽しみにいただいています。そこで今年も例年通り、納涼大会を実施いたします。ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

日時：7月22日 金曜日 18:00~20:00

場所：☀️の場合 至誠ホームけやき広場 ☔️の場合 至誠ホーム本館内

内容：盆踊り おはやし 模擬店 お遊び 花火など

ボランティアさんもぜひ利用者の皆さんと一緒にお楽しみください！

- ◆申込用紙を準備中です。どうぞご協力のほどよろしくお願いいたします。
- ◆お車でのご来園はご遠慮ください。

## 人事院初任者研修・教員免許取得のための介護等体験等の受け入れ



本年度も介護等体験生の受け入れが始まりました。まず、5月には国家公務員初任者研修として、4人1グループを2回受け入れをしました。（えんじ色のエプロン）

7月から11月にかけて、中学生が職場体験にやってきます。一中、三中、八中、国際中の生徒さん達の受け入れを予定しています。体験は3日間で、受け入れ先はスオミのグループホーム、デイホーム、生活アクティビティなどです。（オレンジエプロン）

10月には東京賢治の学校の高校2年生が2名、3週間の福祉体験を行います。（オレンジエプロン）

また8月からは教員免許取得のために、大学3年生が至誠ホームの特養とデイホームで体験を行います。期間は2月まで人数は80名、各5日間を予定しています。（えんじ色のエプロン）

老人ホームという場所に初めて足を踏み入れるという人たちがほとんどです。皆、とても緊張をしていますが、5日間の実習を終えた後の顔は、充実感で輝いています。先輩ボランティアの皆様、どうぞ若い人たちに暖かい声かけをお願いいたします。



## 至誠ホーム60周年史の販売



60周年記念事業として『誠 至誠ホーム60年の歩み』が発行されました。ボランティアや利用者のご家族の方にも1部500円でお分けしています。錦の受付、スオミ、キートス、ミンナでも販売しております。どうぞ手に取ってご覧ください。



# ボランティア活動の紹介：中藤ボランティア会



本年度、感謝の集いで30年表彰を受けられた中藤ボランティア会の皆さんの活動をご紹介します。昭和55年に活動を始められました。活動拠点が武蔵村山と、遠いこともあり、来園せずにできるボランティアを、ということで手作り作品の製作を下さることになりました。毎年たくさんの作品をバザーに出品していただいています。その他にも、至誠ホームの車いすの中にはブレーキレバーにラップの芯が差し込まれていたり、足を乗せるフットレストが布で覆ってあったり、肘を置くアームレストにクッションが入っていたり、背もたれのクッションがついていたりと様々な工夫がされています。それらを可愛い布で手作りしてくださっているのが中藤ボランティア会のみなさんです。そのほか、利用者の状況に応じてパジャマを使いやすく改良してくださったりもしています。また、おいしそうなお菓子のおもちも作っていただきました。至誠ホーム便り297号でそのかわいい写真をご紹介します。とてもありがたい活動です。

皆さんの活動資金の一部は、イオンモールむさし村山ミューのボランティアを支える活動から出ているそうです。『幸せの黄色いレシートキャンペーン』というもので毎月11日、買い物時発行される黄色いレシートを、応援したいボランティア団体に入れると、半年間の集計の結果、合計金額の1%が活動資金としてそのボランティア団体に贈られるのだそうです。皆様もイオンモールでお買い物の際は、ぜひ応援のため、黄色いレシートで、中藤ボランティア会をご支援ください。よろしく願いいたします。



## ボランティアさんからのお便り



至誠ホーム錦町の中では最年少のボランティアの和田由杏（ゆあん）ちゃんのお母さまから、メッセージをいただきました。ご紹介させていただきます。

私は以前、介護施設で働いていましたが、長女の出産を機に退職しました。その後、次女、三女と出産し、育児をしてきましたが、お年寄りのそばにいたいという気持ちはずっと持っていました。

三女の由杏が2歳になったとき、「そうだ、この子を連れてボランティアをしたらどうだろう。」と、ひらめいたのがきっかけで、昨年3月から入園前の今年の3月まで、週に1回、1時間ほど活動するようになりました。活動内容は、何か特別なことをするわけではなく、ひ孫がおじいちゃん、おばあちゃんに会いに行くような、そんなごく普通の光景にしたいと思いました。

1年間の活動を振り返ってみると、絵本を読んだり、うたったり、おままごとにぬりえやおりがみ。ピアノを弾いたり、お人形ごっこや七夕の飾りつけ。かるた、パズル、風船、じゃんけん。七五三のお披露目に、節分の豆まき等々……。いろいろなことを娘といっしょにやってくれました。

そこにはいつも、利用者の皆様が、両手を広げて娘を受け入れてくれるやさしいほほえみと、温かい空気が満ちていました。小さな手と、しわくちやの大きな手が触れ合うのを見ていると、命のつながりの尊さまで感じてしまうような、そんな素敵な時間でした。

今後も、夏休みなどを利用して、続けていこうと思っています。

(スオミグループホーム ボランティア 和田恵美)

### 将棋ボランティアさん募集



- ◆ 内容：将棋のお相手
- ◆ 募集人数：男性 1名
- ◆ 日時：火曜・金曜日の午前以外  
(ここは入浴の時間帯です)
- ◆ 場所：特養2階  
将棋のお好きな男性の利用者の方です。詳細はお問い合わせください。

### 籐編み指導ボランティアさん募集

- ◆ 内容：籐編みの指導
- ◆ 日時：月に1度
- ◆ 時間：午後14：00～1時間程度
- ◆ 募集人数：1～2名
- ◆ 場所：柴崎町コミホーム  
詳細はボランティアコーナーまでお問い合わせください。

